

SHIZUOKA

J • O • U • R • N • A • L

Vol. 30 No. 2 2020 (通巻209号)

目 次

巻頭言 「順応力、適応力そして対応力」

副会長(東部) 深澤 英史 1

会 告	第25回 静岡県放射線技師学術大会.....	2
	・演題募集	2
	・演題区分表	3
	・演題申込用紙	4
	第36回日本診療放射線技師学術大会(Web)(1/8～1/31)	5
	新春公開講演(Web)(1/9)	6
	令和2年度静岡県放射線技師研修会(Web)(2/27)	7

連載企画 突撃!! とんりの放射線科 9

メッセージボード 13

本会の歩み 17

会員動静 18

本会への寄贈図書 19

議事録 令和2年度 第2回理事会議事録(8/29) 20

行事予定カレンダー 41



『順応力、適応力そして対応力』

(公社)静岡県放射線技師会 副会長 深澤 英史
(東部地区)



私の家内は、結婚前は、富士市吉原商店街吉原本町駅のすぐ近くに住んでいました。小中高とも徒歩で通学し、車がなくとも不便を感じない所謂「町」に住んでいました。ところが、ヘアピンカーブを何度もやり過ごし、ひと山越えないと駅も店も無い山奥に嫁に来てはや27年。花粉症になったり、プヨに刺されてコブのように足を腫らし、姑や田舎のしきたりに涙も流しましたが、今では畑で野菜を作り、子供たちの送り迎えのため日に何度も山を越え、近所では「吉田屋(屋号)の〇ちゃん」と呼ばれ私より世間が広いです。彼女の順応力、適応力、それとも対応力でしょうか?とにかく感謝しています。

順応とは、環境変化に応じて生き延びるために、自身の身体(形態・機能・性質)や行動を調節することだそうです。彼女は山奥に嫁に来て大きく環境が変化しましたが順応力が強かったのでしょうか?居住環境の変化に対する対応は数日で順応できる場合もあれば、数か月から数年単位の期間が必要な場合もあるそうです。しかし、時間さえかければ人は順応する力が備わっているそうです。

続いて適応の意味は、順応が無意識に自然と変化するのに対して、適応は意識的に環境に適合することだそうです。新しい状況に適合するように変化することらしいけど、自然界では、適応できないと自然淘汰され、その生物は滅びてしまい、人の場合は適応障害と呼ばれる状況に陥り、その原因はうまく適応できなかった時のストレスだと言われ、ノホホンとやり過ぎ力が必要だそうです。そういえば、家内はノホホンとしています。

最後の対応力は、接する相手や起こっている問題、置かれている状況などに、適切な対処を行うことで、かのダーウィンは『適者生存』の中で、「この世に生き残るは誰か?最も力の強いものか?そうではない。最も頭のよいものか?そうでもない。それは、変化に対応できる生き物だ。」と言っています。

さて、このコロナ禍は、様々な生活様式を変化させました。病院への受診の在り方も変わりつつあります。技師会も新しい研修会等を模索しています。医療だけでなく社会そのものを変化させています。中世西欧で流行したペストは、感染拡大の場となった教会の権威を失墜させ、社会が国家中心の社会に、20世紀のスペイン風邪は、科学と医学の進歩に加えWHO設立の流れを生み出したそうです。同様に、今回もワクチン開発などの医学の進歩だけでなく、医療そのものをええたり、経済の在り方を変えるでしょう。これまでアジアに展開してきた企業方針や、仕事のやり方、スタイルが変わり、人の意識や考えさえ変えていくことになると思われます。

必ずウイルスは封じ込められます。それはこれまでの感染症との闘いの歴史が証明しています。しかし、封じ込めた後の世界をどう生きるか。どう作っていくか。もしかしたら、私たちは今、歴史の転換点に立っているのかもしれません。この変化に順応、適応そして対応していかなければならないと思います。私も田舎に嫁に来るといふ人生の転換点を上手に乗り切った家内を見習い、この変化に鈍感にはならず、そしてある程度ノホホンとして対応できるようにしたいと思います。

会 告

第25回静岡県放射線技師学術大会 演題募集

令和3年5月30日(日)に、第10回(公社)静岡県放射線技師会定時総会及び第25回静岡県放射線技師学術大会を開催いたします。

開催にあたり、本学術大会において研究発表演題を下記により募集いたしますので、多数の演題をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

記

【日 時】 令和3年5月30日(日)

【会 場】 三島市民文化会館(ゆうゆうホール) 小ホール

〒411-0036 静岡県三島市一番町20番5号

TEL: 055-976-4455

【発表形式】 ① 口述発表 発表時間7分 討論3分

② 液晶プロジェクターを使用したPCプレゼンテーション

(Windows用Microsoft Office Power Point 2016)を基本とします。

*新型コロナウイルス感染症流行状況によりweb配信等発表形式が変更になる可能性あることをご了承ください。

【発表資格】 発表者および共同発表者は、令和2年度会費完納の会員および賛助会員に限ります。会費未納者を含む演題申し込みはできませんのでご注意ください。

【応募方法】 静放技ホームページ(<http://shizuhogi.jp>)より演題申込書をダウンロードしてください。必要事項を記入したうえで、電子メールに添付し、件名に「演題申込」と明記して下記アドレスまで送信してください。

演題申込メールアドレス: endai.entry@shizuhogi.jp

【受理通知】 演題受理の通知を、申込みメールアドレスに送信します。申込み後7日を経過しても通知のない場合は、通信トラブル等考えられるので、お問い合わせください。なお、演題採用者には後日抄録集の作成に協力いただきます。

【締め切り】 2021年1月24日(日) 必着

【お問い合わせ】

静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202

(公社)静岡県放射線技師会 TEL 054-251-5954

FAX 054-251-9690

演 題 区 分 表

演題主区分	区分番号	区 分 内 容
X 線 撮 影	A	単純・造影・断層撮影技術 アンギオ・DSA・FPD撮影技術 機器、画像処理技術、補助具 品質管理、画像評価 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
X 線 C T	B	CT撮影・処理技術 機器、画像処理技術、補助具、品質管理 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
M R I	C	MRI撮影・処理技術 機器、画像処理技術、補助具、品質管理 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
核 医 学	D	インビトロ（試料測定一般） インビボ（体外測定一般） 機器、画像処理技術、品質管理 放射性医薬品、臨床応用、その他
放 射 線 治 療	E	治療計画・照合・計測、照射技術 機器、補助具、品質管理 ラジオサージェリー、小線源照射、温熱療法 その他
超 音 波	F	検査技術一般、臨床応用 機器、品質管理、その他
そ の 他 の 検 査	G	骨塩定量検査・機器 体外衝撃波結石破碎装置、眼底撮影、その他
放 射 線 管 理	H	放射線管理一般、法令 被曝防護、特性・遮蔽計算その他
画 像 情 報	I	画像解析、画像評価、画像処理技術 HIS-RIS、PACS画像通信・保存、読影システム その他
情 報 管 理 ・ 運 営	J	読影補助、業務統計処理、人材育成 マネジメント、医療経営、広報、その他
ペーシェントケア	K	
感 染 対 策	L	

年 月 日

第 25 回 静岡県放射線技師学術大会

演題申込用紙 2021 年 1 月 24 日（日） 必着

演 題 名 (区分番号)	(冊) 演題区分表参照		
	所属施設・部署	会員番号(必須)	氏 名 (フリガナ)
発 表 者			
共同発表者			
演 題 予 稿 原 稿 (300 字程度に おまとめくだ さい)			
代表者連絡先	氏 名		
	住 所 〒		
	所 属		
	TEL (内線)	FAX	
	E-mail		
通 信 欄			

※ご記入内容は予稿集の作成データとなります。お間違えございませんようお願いいたします。

送付先 E-MAIL : endai.entry@shizuhogi.jp

TEL : 054-251-5954

会 告

第36回日本診療放射線技師学術大会(Web)

第36回日本診療放射線技師学術大会は、2020年10月23日(金)～25日(日)の3日間、宮城県仙台市での開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況を踏まえ、2021年1月8日(金)～31日(日)の日程で、規模を縮小し全てWeb形式で開催することにいたしました。

本大会はメインテーマとして「国民と共にチーム医療を推進しよう」を挙げ、サブテーマを「人と技術をつなぐ令和の未来へ」といたしました。年号が「平成」から「令和」へと変わり、「アナログからデジタルに」「装置機能の多様化」等、我々を取り巻く環境も大きく変化する中、過去の技術を見つめ直して継承し、そこへ新しい技術を融合させていくための基礎を見つめ直すことを考えて企画させていただきました。

また、2020年4月1日から医療法施行規則の一部が改正され、管理者が確保すべき安全管理の体制として「医療放射線に係る安全管理」が追加され、安全管理責任者の配置や指針の策定、職員研修の実施、医療被ばくの線量管理・記録が求められることとなります。これらの改正に対する運用や線量の最適化、診療放射線技師養成カリキュラムの改正及びタスクシフト等、我々を取り巻く環境の変化に関する情報提供が出来ればと考えております。

Web形式により今まで参加が難しかった会員にも、気軽に参加できる学術大会となっております。この学術大会が今後の診療放射線技師の活動の方向性を考える一助となれば幸いです。ぜひ本学術大会にご参加いただけますように、心よりお願い申し上げます。

記

- 【日 時】 2021年1月8日(金)から1月31日(日)
- 【場 所】 Web開催(開催期間中にWeb上で閲覧・視聴していただく方式)
- 【参 加 費】 会員：1,000円 非会員：2,000円 学生※：500円
※「学生」とは、診療放射線技師養成校在学中の学生を指します。
診療放射線技師免許を取得している大学院生は、学生扱いではありません。
- 【内 容】 会長講演(動画)、教育講演(動画)、JART委員会企画(動画)、一般演題(静止画)、宮城県実行委員会企画ベーシックセミナー(動画)、企業展示(動画)(動画は、ライブではなくオンデマンド配信)
- 【申込期間】 事 前：2020年10月5日(月)から12月17日(木)
会期中：2021年1月8日(金)から1月21日(木)
- 【申込方法】 本会会員情報システム(JARTIS)よりお申込み
会期中の参加登録は、JARTISでの申し込みから参加ができるようになるまで、数日かかることがあります。

会 告

新春公開講演会開催

新型コロナウイルス感染症の流行が拡大し、私たちの生活様式は一変しました。そのような中、従来行われていた講習会・研修会等の集合型開催は感染拡大の可能性を含み、web配信型のものが主流となってきています。今回の新春公開講演会はweb配信による形式とし、新型コロナウイルス感染症をテーマに企画いたしました。

公開講演では「新型コロナウイルス感染症の流行爆発は災害医療」との観点から、DMAT隊員としての活動を、ダイヤモンド・プリンセス号や7月に浜松で発生したメガクラスターへの対応について講演していただきます。教育講演では、第一種感染症指定医療機関である静岡市立静岡病院の会員より新型コロナウイルス感染症患者受け入れ対応と事例紹介を報告していただき、診療放射線技師に必要な感染対策の知識・技術を学んでいきます。

つきましては、ご家族やご近所様、職場の方など皆様お誘いあわせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

【日 時】 令和3年1月9日(土) 13:30~16:00

【場 所】 webによるライブ配信

* 後日、静岡県放射線技師会ホームページ上に参加申し込みURLを掲載

【参 加 費】 無料

【内 容】

13:30~ web会議場オープン

13:55~14:00 会長挨拶

14:00~15:00 公開講演

「新型コロナウイルス感染症への対応から学ぶ災害医療」

～ダイヤモンド・プリンセス号から大規模クラスター対応までを振り返る～

講師 浜松医科大学医学部附属病院

救急部 助教 高橋 善明 先生

15:00~16:00 教育講演

「「with コロナ」 — Covid-19 私たちの経験 — 」

第一部 「 Covid-19に対する各モダリティの感染対策 」

講師 静岡市立静岡病院

放射線技術科 千葉 和宏 会員

第二部 「 実症例の紹介と経験談 」

講師 静岡市立静岡病院

放射線技術科 増田 秀道 会員

会 告

令和2年度 静岡県放射線技師研修会

近年、医療を取り巻く環境が激変する中、赤字病院の割合が高まるなど病院経営は厳しさを増しています。そこにはマネジメント力の欠如と同時に、マネジメントを担う人材の不足が一因になっているといえます。放射線部門における経営管理も同様に、診療放射線技師としての能力以外に経営に生かせる能力を持つことも必要であると考えます。

今回の研修は、経営に参画できる診療放射線技師の育成を目的としたマネジメント研修会を開催いたします。つきましてはご多用とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいようお願い申し上げます。

記

- 【日 時】 2021年2月27日（土）14:00～15:45（受付開始14:00～）
【参加費】 無料 ※事前参加登録制 定員100名（先着順）
【事前申込】 令和2年12月1日（火）～ 令和3年2月26日（金）
【申し込み方法】 今回の研修会はzoomによるweb開催となります。静岡県放射線技師会ホームページ、セミナー参加申込フォームよりお申込みください。

【内 容】	14:00	受付開始	開会挨拶&webセミナーにおける注意事項
	1. 14:15	メーカー講演	
		「コロナ禍におけるCTについて」	
		GEヘルスケア・ジャパン	平本 卓也
	2. 14:45	特別講演	
		「放射線医療機器の減価償却について」	
		新城市民病院 医療技術部	運営部長
			安形 司 先生
	15:45	閉会	

【webセミナーの注意事項】

- ・スマートフォン、タブレット、PCやzoomのバージョンによって機能の違いがありますので、予めご了承ください。
- ・ネットワーク環境により映像および音声がかかる場合がございます。予めご了承ください。
- ・会に関わる著作権・商標権などの知的財産権その他の権利を侵害する行為およびデータの撮影、保存、録画、録音その他の不正利用を固く禁じます。
- ・上記条件をご理解いただいた上でご参加をお願いいたします。万が一、違反する行為が発覚した際には然るべき措置を取らせていただく場合があります。その旨ご了承ください。

共催：静岡県放射線技師会企画調査委員会

バイエル薬品株式会社、GEヘルスケア・ジャパン株式会社

お知らせ

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、当初予定していたイベントやセミナーが中止・延期をしています。今後の開催については、静岡県放射線技師会のホームページ・各地区会の広報誌にてお知らせさせていただきますので、お手数ですが、随時ご確認を頂きますようお願いいたします。

おわび

「しずおかジャーナルVol.30 No.1 2020（通巻208号）」（令和2年7月31日発行）6ページの「役員感謝状」において記載内容に誤りがありました。謹んでお詫びいたしますとともに以下のとおり訂正いたします。

誤）高屋敷 英明

正）高屋敷 英明

誤）小林 英行 聖隷検診センター

正）小林 秀行 聖隷浜松病院

ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

Work Life Balance 検討委員会 presents

突撃!! となりの放射線科

ワークライフバランス検討委員会
和田 夏季

WLB検討委員会の和田です。今回も「あなたの一年教えてください!」をテーマに二人の技師さんをご紹介します。仕事やプライベートでの活動、充実させるために工夫していることなどを教えていただきます。

新しい生活様式の楽しみ方

市立島田市民病院

小島 優芽

私は大学院卒業後、市立島田市民病院に採用され、今年で4年目になります。学生時代から現在まで、一人暮らし歴は10年目です。比較的自由に時間を使えるので、いろんなものを見たりいろんな体験をしたりして、たくさんの趣味ができました。家庭を持つ前の、自分の時間を十分に持てる今だからこそ、好きなことに没頭して生活したいと思っています。ここでは、そんな私の最近の過ごし方を書かせていただきます。

ワークもライフも充実させるには、切り替えが大事だと考えています。そのため、やらなければいけないことは基本的に職場で済ませ、家で仕事のことはしないようにしています。資料やスライドの作成、教科書や論文を読んだり、資格の勉強、ちょっとした実験等は直営中などの空いた時間に終わらせます。これによって、家での時間はすべて趣味に費やすことができます。土日の研究会・勉強会には積極的に参加していますが、今年は自宅でのWEB参加が多く、外に出なくて済むので便利な反面、家でいろんな誘惑と戦いながらなん

とか聴講しています。平日は定時で帰れることが多いため、充実したアフターファイブを過ごしています。広く浅い多趣味で、一眼レフをさわったり、楽器をいじったり、街中の看板のお気に入りフォントを集めたりとやることはたくさんあるのですが、ここでは3つに絞っておきます。

なんといってもメインは野球中継を見ることです。学生時代4月に横浜で開催されるJRCに行った際、野球好きの友人に連れられて神宮球場で観戦したのをきっかけにヤクルトスワローズのファンになりました。それ以来、シーズン中は野球中継を見るのが日課になっています。今年は新型コロナウイルスの影響で開幕が3ヶ月遅れ、交流戦もなくなり試合数は23試合削減されました。はじめは無観客で開催され、7月からは上限5000人で観客を入れるようになりました。それでもエアロゾルの懸念からトランペットなど管楽器を使つての応援は禁止されていたため、いつもより静かで盛り上がり欠ける…そう思っていたのですが、いざ始めてみると案外良いものでした。普段は応援でかき消されてしまうベンチやグラウンドでの選手の声、会話がよく聞こえるからです。あと、野次を飛ばしていたり煽ったりしているのも聞こえて面白いです。こういう状況下でないと気づけなかったと

思います。



今まではJRCの合間に神宮やハマスタに行ったり、地方開催で草薙球場に来るときは見に行ったりしていましたが、今年はそういった機会がなく、生で試合を見れていないので残念です。せめて2月に沖縄で行われる春季キャンプには行けたらなと思っている所存です。

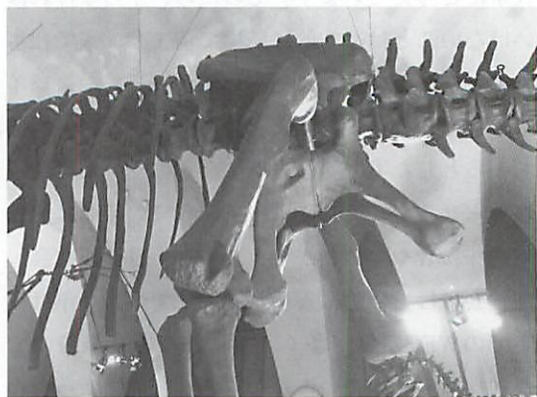
野球観戦のほかに好きなのが生き物についてです。動物園や水族館で実際に触れ合うのもいいですが、生物の分類や進化について興味があるので、家で図鑑や専門書を読んでいることが多いです。また、ScienceやNatureといった科学雑誌で論文を探すのも面白いです。専門用語ばかりで難しいですが、なんとか雰囲気だけでもと軽い気持ちで眺めています。自分の興味のあることについて最新の情報が得られるので、ぜひうち時間にいかがでしょうか。

生き物全般が好きですが、夏になると好き度が上がってくるのが恐竜です。「夏といえば恐竜」みたいな感じ、ありませんか。福井県立恐竜博物館や首都圏で開かれる恐竜博・恐竜展が有名ですが、静岡県内では、三保にある東海大学自然史博物館で大小様々な恐竜の骨格標本が展示されています。隣接する東海大学海洋博物館と合わせてまわるのがおすすめです。海洋博物館は黄色と白の

ボーダー模様が映えるニシキアナゴがすごくかわいいです。また、静岡南高校をリノベーションして作られた、ふじのくに地球環境史ミュージアムもいいところです。恐竜の常設はありませんが、企画展で時々登場します。もちろん常設展も見応えがあり、教室の雰囲気を残した展示が他の博物館にはなく新鮮です。

さらに、今ならではの博物館の楽しみ方があります。国立科学博物館が実施している「うちで体験！かはくVR」というものです。自宅にいなから博物館内をストリートビューのように歩いて展示を鑑賞することができるサービスです。3Dビューだけでなく、専用ゴーグルがあればVR映像としても鑑賞することができます。ただ、夢中になりすぎると酔ってしまうので注意が必要です。

ここで唐突に、恐竜標本の楽しみかたを紹介します。例えば、恐竜には尾-大腿骨筋が存在します。文字通り尻尾と大腿骨を繋ぐ筋肉で、後脚が運動するために働きます。この筋肉が付着するのが大腿骨後面にある第四転子で、骨格標本や化石で確認することができます。普段の業務で人間の骨の形はよく見ると思いますが、他の動物の骨にもそれぞれの体や生活に合わせた特徴があり面白いものです。この第四転子は、爬虫類の中でも主竜類という恐竜やワニを含むグループで観察できるので、博物館に訪れた際にはぜひ注目してみてください。



一人で乗るときもあり、大井川沿いの比較的平坦なコースか職場の近くにある山を気分を選んでいきます。夏は19時頃まで明るいので仕事終わりでも走りにいけませんが、18時から野球が始まってしまうので悩みどころです。逆に最近は日が落ちるのが早く、肌寒くもなってきました。風を受けて体感温度はかなり低くなるそうなので、防寒対策をしてこれからの季節もロードバイクを楽しみたいです。



私は県内の病院で働いています。なかなか子どもを授かることができなかったため不妊治療を始め、数年経ちました。

現在日本では5.5組に1組の夫婦が不妊治療をしているそうです。皆さんの周りにも不妊治療をされているご夫婦はいらっしゃるのではないのでしょうか？本来ならばこのコーナーとは関係がないかもしれませんが、僥倖ながら今回不妊治療をしながら働き、感じたことを書かせて頂きます。

不妊治療をしながら働くことの難しさは、自分の都合で受診日を決めることができないことと、費用の負担が大きいことだと思います。

不妊治療は月経周期や卵巣などの状態で受診する日が決められます。そのため、前もって休みの申請をすることは難しいです。場合によっては数日おきに通うこともあり、それを毎月繰り返すこともあります。サラリーマンならフレックスで働くこともできますが、医療職ではそういったことは難しいため、何度も仕事に穴をあけることになってしまいます。

— 11 —

す。

経験年数もそれなりになり、仕事のやりがいは感じていますが、不妊治療を始めてから何度か流産を経験したことで仕事とプライベートのバランスについて非常に悩みました。認定の試験を受けたい、学会発表をしたいなど仕事を頑張りたい気持ちもありますが、妊娠する可能性は年齢が上がるとともに下がります。夫の仕事の都合や体調不良が原因で今回の治療は見送りましょう、となると焦りも感じるようになりました。

治療に使われる薬の影響で体調が悪くなることもあります。しかし、治療に専念したくても働かなくては不妊治療の費用がありません。身体への負担を考えて夜勤などの無い仕事に転職しようと考えたこともありましたが、結婚して子どものいない女性はすぐに産休に入ると思われて採用されないのでないか、仮に採用されても休みがちになると迷惑になるのではないかと、思うと決断できずにいます。

今までは「不妊症で日常生活が送れないことはない」として国が不妊症を疾病だとは認めていないため、不妊治療は保険適応になりませんでした。しかし菅総理が就任されてから、不妊治療の保険

適応が動き始めました。金銭的な負担が減ることは喜ばしいことですが、限りある財政を有効的に使うためにも、年齢や所得によって制限をつけることは悪いことだとは思いません。しかし、女性の社会進出や晩婚化が進む中で自分が不妊症、不育症かもしれない…と気付いた時には残された時間がわずかかもしれません。

私も10代、20代のころはまさか自分が不妊症だとは思っていませんでした。不妊の原因はわからないことも多いですが、それでも振り返ってみると身体から色々なサインが出ていたような気がします。気になった時にもっと早く婦人科に行っておけば早めに対処できたかもしれません。しかしあの時の自分には不妊で悩む未来は全く想像できませんでした。

女性の診療放射線技師が増えてきたことでこういった悩みを持つ人はこれから増えるかもしれません。不妊治療はどうしても身体と経済的に大きな負担となります。また先が見えない治療に対して精神的にも負担になります。年齢といったタイムリミットも存在します。それでも、子どもを望む夫婦に子どもが授けられるチャンスが多くなるような世の中になれば、と思います。

記事を書いてくださった市立島田市民病院の小島さん、匿名で記事を提供してくれた技師さん、ありがとうございました。

小島さんは時間をうまく使い分けて充実した生活を送っている様子が大変参考になりました。職場の方々と共通の趣味もあり、仕事にもプラスになっていそうですね。とても素敵な関係が築けているように感じました。

不妊治療中の技師さんのお話では、同様に悩んでいる方がいるかもしれないと感じました。周囲が知らないだけで、身近にいるのかもしれません。そう思いながら記事を読んでいただき、放射線技師に限ったことではありませんが世間の理解がより深くなってほしいです。

メッセージボード

令和2年10月現在

東部地区

◎経過報告

2020.08.18(火)

メール会議

第2回東部地区会幹事会(メール会議)開催

参加者 15名(メール会議)

- ①静岡県放射線技師会報告
- ②地区会たより vol. 2(案)について
- ③第1回放射線セミナー・胃がん検診講習会について
- ④メディメッセージについて
- ⑤第2回放射線セミナー・胃がん検診講習会について
- ⑥パソコンの購入について

2020.09.上旬

東部地区会たより vol. 2 発行

◎行事予定

2020.10.20(火) 19:00～

第3回幹事会

「静岡県立静岡がんセンター」 本棟2階

カンファレンス室

2020.12.上旬

東部地区会たより vol. 3 発行

2021.01.24(日) 14:00～17:30

令和2年度放射線セミナー

令和2年度胃がん検診X線撮影従事者講習会

ZOOMを使用したWeb開催(静岡県立静岡がんセンター発信)

2021.02.02(火) 19:00～

第4回幹事会

「静岡県立静岡がんセンター」 本棟2階

カンファレンス室

2021.02.中旬

東部地区会たより vol. 4 発行

2021.03.06(土)

第59回東部地区会通常総会

ハガキを使用した決議、またはZOOMを使用したWeb開催を予定

中部地区

◎経過報告

令和2年5月

- ・静岡市社会福祉協議会が令和2年度静岡ふれあい広場の開催中止を決定した。

令和2年10月7日

- ・令和2年度 第1回放射線セミナー及び第2回胃がん検診X線撮影従事者講習会はCOVID-19感染拡大防止のため延期とする。集会型講習会は開催中止とした。

- ・レクリエーションを中止とする。

- ・令和2年9月11日 第2回幹事会 Zoomを使用してリモートにて開催出席者9名

1. 地区会長挨拶

2. 県技師会理事会報告

①Zoom購入 ②来年度東海四県予定

③来年度県総会予定 ④新春講演会予定

3. 協議事項

- ・放射線セミナー&胃がん検診エックス線撮影従事者講習会について

日時：12月5日(土) 14:00~16:00

場所：(Web配信 Zoom使用)

内容：放射線セミナー

「市立島田市民病院 診療放射線室におけるCOVID-19疑い・陽性患者の撮影時対応について」

市立島田市民病院

和田 一也 会員

胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

「聖隷健康サポートセンターShizuokaにおける接遇改善への取り組み」

聖隷健康サポートセンターshizuoka

野澤 滋幸 会員

告示方法

11月地区会ニュース秋号にて告知し、県技師会HPにも掲載する。

メールにて事前登録方式、もしくは県技師会の登録フォーム作成後に登録を行う。

登録した会員に後日メールにてURLとパスワード送信する。

◎行事予定

令和2年11月

地区会NEWS秋号発行

令和2年11月20日

第3回幹事会

令和2年度12月5日

第1回放射線セミナー及び胃がん検診撮影従事者講習会(Web配信)



◎経過報告

第1回西部地区会幹事会

日時：令和2年5月15日(金)～

令和2年5月31日(日)

方法：メール会議

参加人数：23名

内容：規約について

事業計画について

書類の取扱、会費納入方法

前役員引き継ぎ

内容：レクリエーションについて

西部TIPSについて

社会活動について

会費納入状況報告

勉強会WEB開催について



第2回西部地区会幹事会

聖隷浜松病院放射線部技師室

日時：①令和2年7月15日 18:00～18:40

②令和2年7月17日 18:10～19:10

場所：聖隷浜松病院放射線部技師室

分散開催

①レク・編集委員会

②勉強・組織委員会

参加人数：22名

内容：現状報告(県技師会動向)

自己紹介

レクリエーションについて

西部TIPS発行について

勉強会開催について

社会活動について

第1回西部地区勉強会

(会場下見及びデモンストレーション)

日時：令和2年9月19日(土) 14:00～17:00

場所：アクトシティ浜松

コンgresセンター 5F 54会議室

参加人数：6名

◎行事予定

第1回西部地区会勉強会

日時：11月28日(土) 13:30～

方法：WEBによるライブ配信

(Teamsの予定)

演題名

『働き方改革の視点から、人材を3段階で育成する ～胃がん検診専門技師認定取得を推奨して分かったこと～』

聖隷予防検診センター

地域・企業健診センター 放射線課

朝比奈 真一 会員

『どう撮る?どう診る?救急疾患の画像診断～当直恐怖症を克服するための処方箋～』

浜松医科大学医学部付属病院 放射線科

棚橋 裕吉 先生

第1回西部地区会誌「西部TIPS」

8月発行

第3回西部地区会幹事会

日時：令和2年9月7日(月)～

令和2年9月13日(日)

方法：メール会議

参加人数：10名

ングレスセンター

ンについて

について

いて

回西部地区会勉強会
時：令和3年1月下旬
方法：WEBによるライブ配信
内容：未定

旬

ブ配信

本 会 の 歩 み

(令和2年6月1日～令和2年9月30日)

R 2 / 6 / 11

第 5 回常任理事会 (WEB会議)

山本 深澤 畑 高橋 後藤 森田 堀
鈴木 大杉 遠藤 佐野

協議事項

- ・総会質問の回答
- ・コロナ禍における事業の開催について
- ・企画申請書・報告書承認について
- ・秋季公開講座開催方法

R 2 / 6 / 23

編集委員会 初校 (技師会事務所)

遠藤 堀 常葉 渡邊 三輪 杉山

R 2 / 6 / 25

第 6 回常任理事会 (WEB会議)

R 2 / 7 / 7

編集委員会 二校 (技師会事務所)

遠藤 堀 常葉 渡邊 三輪 杉山

R 2 / 7 / 9

第 7 回常任理事会 (技師会事務所 + WEB)

山本 深澤 畑 高橋 後藤 森田 堀
鈴木 大杉 遠藤 佐野

協議事項

- ・JART講習会開催ガイドラインでの開催方法
- ・今年度部会費、地区助成金支給について
- ・理事会について
- ・常任理事報告

R 2 / 7 / 23

第 8 回常任理事会 (WEB会議)

R 2 / 7 / 31

ジャーナル発送作業 (技師会事務所)

遠藤 堀 常葉 渡邊 三輪 杉山
後藤 森田 鈴木

R 2 / 8 / 13

第 9 回常任理事会 (技師会事務所 + WEB)

山本 深澤 畑 高橋 後藤 森田 堀
鈴木 大杉 遠藤 佐野

協議事項

- ・会計業務委託先変更
- ・Zoom購入について
- ・静岡保健科学専門職大学 (仮) 開設について
- ・理事会運営について
- ・企画申請・報告書

R 2 / 8 / 27

第10回常任理事会 (WEB会議)

R 2 / 8 / 29

第 2 回理事会 (技師会事務所 + WEB)

山本 深澤 高橋 畑 後藤 鈴木 大杉
遠藤 佐野 森田 廣澤 宿島 小林 神谷
廣瀬 栗田 松本 和田

協議事項

- ・JARTシステムの更新・事務所移転について
- ・活動予定報告
- ・Zoom購入・運用について
- ・ホームページ更新について
- ・コロナ禍における講演会等の開催方法
- ・その他

R 2 / 9 / 10

第11回常任理事会 (技師会事務所)

山本 深澤 畑 高橋 後藤 森田 堀
鈴木 大杉 遠藤 佐野

協議事項

- ・新春講演会の運営
- ・総会・学術大会の運営
- ・企画申請書・報告書
- ・Zoomによる勉強会について

R 2 / 9 / 24

第12回常任理事会 (WEB会議)

会 員 動 静 (敬称略)

(令和2年6月1日～令和2年9月30日)

【入 会】8名

東部：後藤 雄太 富士宮市立病院
 中部：滝井 剛 静岡市立清水病院
 岡崎 美裕 聖隷健康サポートセンターShizuoka
 亀井 理沙 聖隷健康サポートセンターShizuoka
 望月 雅美 静岡赤十字病院
 中村知帆子 岡本石井病院
 萩原 汀紗 静岡厚生病院
 市川 慎也 静岡厚生病院
 西部：野村 孝之 浜松医科大学附属病院
 東部：下島 加奈 国際医療福祉大学熱海病院

【再入会】0名

【転 出】1名

東部：酒井 奏美 愛知県

【転 入】1名

西部：藤井 亮輔 聖隷浜松病院
 ← 兵庫県

【勤務移動】6名

東部：仲亀 智也 国際医療福祉大学熱海病院
 ← 自宅
 井上 雅代 富士いきいき病院
 ← 聖隷富士病院
 林 千恵 駿栄会御殿場石川病院
 ← 有隣厚生会富士病院
 中部：樽松 文孝 おかにし内科クリニック
 ← 市立島田市民病院
 上半 隼也 市立島田市民病院
 ← 順天堂大学医学部附属静岡病院
 西部：山村 拓也 自宅
 ← 浜松労災病院

【産休】0名

【退会】3名

東部：石津 文夫

中部：加藤 吉隆 幸田 明久
 深沢 敏之
 西部：大橋 輝也 日下部行広
 味元 雅幸

【資格喪失】0名

【会費免除申請】0名

会員総数	957名
東部	277名
中部	293名
西部	383名
県外	4名
(令和2年9月30日現在)	

【姓変更】1名

中部：寺田 莉帆 静岡県立総合病院
 ←杉浦 莉帆

【電報】0件

本 会 へ の 寄 贈 図 書

(令和2年6月1日～令和2年9月30日)

- 6 / 8 兵庫県放射線技師会会誌 6
2020.6.1 Vol80-①
- 6 / 19 広島県診療放射線技師会会誌
No53 2020.6
- 7 / 2 福岡県診療放射線技師会会誌 第344号
- 7 / 6 福井県診療放射線技師会会誌 第41号
- 7 / 9 京都府放射線技師会雑誌 令和元年度
- 7 / 17 放射線やまぐち 2020 Vol.281
- 7 / 29 埼玉放射線 2020 No.3
- 7 / 30 かながわ放射線だより 287
Vol.73 No.2 Jul.2020
- 8 / 4 東京放射線
2020年 7.8月合併号 Vol.67 No.785
- 8 / 25 大分放射線 第120号 Jul 2020
創立70周年特集号
- 8 / 31 会報 2020年 9 月
北海道放射線技師会
- 9 / 7 東京放射線
2020年 9 月号 Vol.68 No.786
- 9 / 13 富山県診療放射線技師会会報
Vol.94 2020
- 9 / 23 MART会報 94
宮城県放射線技師会
- 9 / 30 かながわ放射線だより
288 Vol.73 No.3 Sep.2020

令和2年度 第2回 理事会 議事録

1. 開催日時 令和2年8月29日(土)
2. 場 所 技師会事務所+WEB会議
3. 出席者(敬称略)

山本 英雄・深澤 英史・高橋 真
畑 利浩・後藤 修司・鈴木 紀晶
大杉 正典・遠藤 基生・佐野 祐二
森田 光博・廣澤 賢一・宿島 久志
小林 秀行・神谷 正貴・廣瀬 和秀
栗田 仁一・松本 恭徳・和田 健

欠席者

堀 吉孝

(1) 山本会長挨拶

今回もハイブリッド形式で理事会を始めていきたいと思います。

定款の34条に従いまして、私が議長を務めさせていただきます。

議事録については総務庶務の森田様が行います。マイク・イヤホンの設定確認をお願いします。発言者以外はマイクをオフにしてください。

(2) 報告事項

I. 会長

JARTからの報告事項です。JARTのシステムが更新されました。トラブル等がありました。ご迷惑をおかけしていますが、新しいシステムの時にはありがちなトラブルなのでご了承くださいという事です。

新事務所の引越しの件ですが、物件を探しています。現在、約150坪の貿易センタービルに入居しています。前会長の時に113坪の竹芝の物件に決まりそうになったのですが、色々な交渉が上手くいきませんでした。新しい上田会長が狭い部屋

で良いのではないか、という事で50坪程度の物件を探していました。

物件を探しているうちに、三田国際ビルが50坪の物件を射抜きならば引っ越し期限までに間に合うという内容で再度浮上しました。

部屋のレイアウト等をリフォーム等せず入居するならば2月入居に間に合います。引っ越しは本来12月までにやらなければいけないのですが、最終的に2月まで待ってもらえる事になっています。

費用もだいぶ抑えられるという事です。今まで約320万円の家賃が約120万円になります。約200万円×12ヶ月の約2,400万円費用を抑えられます。

ただし、新しい物件には会議室がありません。今まで事務所で行われていた100人規模の講習会等は、外部の会議室を借りて開催する事になる為、会場費が増してきてしまいます。

物件は浜松町駅から地下鉄で一駅。徒歩でも15分程度。三菱地所が建設し100年は持つ建物の築30～40経過しているビルです。

新事務所は月曜日の理事会で正式に決まっています。この決定には総会で承認を得ており理事に委任されているため、理事会で決定される事になっています。

会場型講習会開催ガイドラインが日本放射線技師会より示されています

感染防止の基本的な考え方(人との接触回避、距離の確保、消毒設備の設置、マスク着用、換気等)のもと、3密を避ける為大きな会場を確保するなど、開催する際の具体的な対策も示されています。技師会ホームページにも出ています。

8月に日本放射線技師会より講習会等の中止基準も出ています。

判断は主催者がする事になるが、開催地の責任者にも判断の権限を与えて、現場での中止判断する事ができる基準が作られています。

第36回日本診療放射線技師学術大会はWEB開催で1月を予定しています。

会長 上田 克彦

(公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)

大会長 立花 茂

(公益社団法人 宮城県放射線技師会 会長)

実行委員はJARTの委員が中心となり、宮城県の実行委員が手伝いをしていく事になります。

業者に委託してWEB開催していくが、メーカー、金額によってできる事が違います。今後契約するメーカーを選択していかなければなりません。

6月までの会員数です。静岡県が現在922名。全国31,162名になっています。

会員の推移ですが、1月に30,869名からスタートし常時3万は超えている状況です。

組織率ですが、静岡県には1,500人弱の技師がいます。その内の900人という事で61%の組織率となっています。岐阜県は約80%。低いところでは大阪が30%となっています。

JARTからのアンケートについて。診療報酬政策立案委員会からあったと思います。

回答数の目標が30施設のところ、静岡県からの回答が4施設しかきていないということで改めて各施設にお願いをしました。

私がお願いした施設以外にも2・3施設回答したようで大変ありがたく思います。

最低限、理事の在籍している施設だけでも回答してもらうよう各都道府県に通達はしていますが、なかなかうまくいかないそうです。

統一講習会ですが、前年度までで静岡県は受講率70.8%となっています。8割の受講者を目指していましたが、7割にとどまったという事です。

今後は首都圏開催、大都市での開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で9月に延期した講習会も中止という事になっております。

日本放射線技師会全体で60%の受講率となっています。

東海四県の会長会議を臨時で開催しました。議題としては東海四県の学術大会開催は三重県が主催ですが、三重県の技師会では開催を中止したい

という事になっています。

WEB開催をする際のノウハウを持っていないため、業者に委託して開催しようと見積を取ったら約50万円かかるそうです。その費用をどこで負担をするのか案件が出ていました。

また、WEB開催の場合、講師のスライド等がキャプチャーでできてしまうため、良くないのではないかという問題もある事から、中止をしたいという申し出がありました。

東海四県の会長で話し合いのもと、従来通りの開催は難しいが、3人くらいの講師、午前中で終わるような企画を提案した。参加費について、従来2,000円だが会員は500円、非会員は1,000円で企画を提案した。受付・会費徴収・受講証明書の発行等の作業技術は問題になるので、業者をお願いするのはやむを得ないであろうという事で、今のところ見積もりが50万円と出ている。これに関しては4県で折半して納め今年度は開催しようという事になりました。

次年度以降もWEBや会場+WEB型で開催される学会等も増える事が予想されるので、規約等の改正をして、会費等を検討していかなければならないという事になっています。

東海4県の学術大会は、業者をお願いしてもよいので開催する方向で検討するよう三重県にお願いしました。

WEBで開催する事により、登録者数は約1.5倍の人数になると他の大会等での報告がありました。

東部地区で開催されたRCT研究会の案内が来たので見てみました。十分これで行けるなどという事もあるし、21時から開始して、参加者が50人程いました。

内容はCTCとマンモグラフィーについてでした。女性の参加者も多く、スライドを出して講義するというライブ配信で十分だと思いました。質疑応答についてはチャットでコメントを入力し、回答するという形でした。使用したスライドもダウンロード可能という形で開催していました。

メールで相談した会計業務を委託契約の件です。現在『東海浜松会計』との契約を『ちから会計』に契約を変更したいと申し出がありました。

現在、『東海浜松会計』と契約をしています。その中で実働的に動いていたのが『ちから会計』です。実務としては松本様が担当していました。

委託契約を『ちから会計』と直接結びたいという話が来ました。理事数名から意見をもらい、『ちから会計』と契約をする事になりました。

費用の見直しを求める意見もありましたが、困難であるという事で今年度は前年度と同じ費用で契約する事になります。ご了承ください。

皆様に提出していただいた住民票、登記の届出等書類は県の方に報告できていると思います。

Ⅱ. 副会長報告

東部 深澤副会長

原子力緊急時災害対策研修会が11月21日(土)に開催する方向で準備を進めています。

概要として、20名程度で開催する方向に進めています。コロナ禍の影響で、静岡県の警戒レベル、技師会の基準等を鑑みて、10月7日の時点で最終決定をし、開催・中止に関わらず参加予定の方々に連絡をする体制をとりたいと思います。

参加の要件ですが、2週間程度の体調異常のない事の確認等を参加予定者にメール等で周知し、健康状態を確認の上で進めていく事にしています。

現在10名の参加予定があります。定員完了になった事を含めて情報をホームページに掲載をお願いします。

続きまして原子力災害時緊急連絡網ですが、現在調整中です。完了次第ホームページの更新をお願いします。

続いて県の地域防災計画(原子力災害編)ですが、昨年7月に更新されたようで今年4月に届きました。

(公社) 静岡県放射線技師会の役割として、①

原子力災害医療措置及び避難退避時検査に対する協力②住民の問い合わせに協力するという事が明記されています。

静岡県地域防災センターリニューアルオープン(6/2)の案内が届いています。

中部 畑副会長

技師会事務所の防火管理の責任者に副会長がなるという事で、9/16(水)に島田消防署で開催される『乙種防火管理講習』に参加します。

西部 高橋副会長

7月29日に技師会事務所において学術委員長・部会長に集まっていたき会議を開きました。

コロナウイルスの関係で講習会等が開催できない状況の中、何かできないだろうかという事で、WEB開催を含めた検討をしていこうという事になりました。

現在検討中ですが、12月をめどに開催をしていこうというところまで決定しています。

9月になりましたらWEB等で会議を開いて、方向性を決めていこうと思います。

昨日、緊急で連絡しましたがRTCの勉強会がありました。今後同様なもので皆さんに配信できるものがあれば配信していきます。ぜひ見て頂いて、各部会等において使えるものがあれば検討をしていただきたいと思います。

Ⅲ. 常任理事報告

総務 後藤理事

5月 前任者より申し送りを受ける。

6月 理事・部会長名刺作成

委嘱状の氏名不備が確認されたため再発送
新規賛助会員の連絡確認

7月 理事会準備：コロナ禍であるため3密回避
の為会場予約

静岡ジャーナル広告確認

8月 理事会準備：コロナ禍第2波であるため事

務所+WEB開催

参加者減少のため会場予約解除

静岡ジャーナル広告料 請求・郵送

賛助会員会費 請求・郵送

各事象経験をしながらフローチャートを作成していただければいけないと思っています。

令和3年1月9日(土) 新春公開講演会(第26回アール祭)と祝賀会をどう開催していくか。

山本会長

講演会・祝賀会については協議事項の方で協議します。

庶務一般

堀理事が欠席の為、会長より報告。

山本会長

県から胃がん検診X線撮影従事者講習会の委託事業費として補助金を貰っています。マンモグラフィの講習会についても同様に貰っています。

例年通り、国から補助金がおけるという連絡がきました。それに対してどう対応していくかという話がありました。

県からはWEBでも良いので開催してくださいという連絡がきています。

内容に関しても、WEB開催した場合関わる費用も請求して構わないという形できています。

県から、今まで3地区に分かれて開催していたものに対して、WEB開催が可能ならば1箇所で開催してみてもどうかという提案もされました。

堀庶務一般理事から組織理事に連絡が来ていると思います。協議事項で検討していきます。

かかった経費は出しますという事で上限は決まっていますが、県からの補助金に技師会からの補助金を足して県技師会より各地区に20万分配し

ていました。

今年度は申請を出して、使った分だけ補助金を貰うという形になると思います。

まずは事業計画を出さなくてははいけません。講習会をどのように開催していくか検討していきたいと思っています。

会員動静です。4月16日から8月16日まで13名新入会員がありました。

定款に基づき理事会の場での採決が必要となります。

今年度は新入会員が少ないです。フレッシュャーズセミナーを開催していない事もあり13名となっています。

承認をとります。13名入会について

反対 0 保留 0 賛成 14

(全会一致承認)

新入会員について承認されました。

庶務会員管理 鈴木理事

総会員数と今年度の会費納入状況を報告します。

総会員数：953名 会費納入率：70%

例年に比べ高い納入率になっています。

年会費納入期限が9月30日となっています。近くに未納者の方がいらっしゃいましたら、期間内に納入するよう呼びかけをお願いします。

昨年同様、9月に会費未納者リストを作成し、副会長にメールを送らせていただきます。

会長

9月30日までに納入された会員数に対して、日放技から一人当たり200円の委託金が支給されます。約18万円になります。

後藤庶務理事

会費納入の振込用紙が7月までで、コンビニ等で受け付けてもらえません。

深澤副会長

日放技に問い合わせたら、8月末に未納者全員に新たに振り込み用紙を発送するそうです。

編集 遠藤理事

JOURNAL Vol.30 No.1 2020(通巻208号)を1050部発行しました。

発行したJOURNALにおきまして記載に誤りがありました。お知らせと共に次号JOURNALにお詫びと訂正を記載します。

〈訂正箇所〉 6 ページ 役員感謝状

(誤) 高屋敷 英明

(正) 高屋敷 英明

(誤) 小林 英行

(正) 小林 秀行

ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

今後はこのような事が無いよう細心の注意を払っていきます。

JOURNAL Vol.30 No.2 2020(通巻209号)の発行に向けて今後の予定です。

10月20日を原稿締め切り期限とし、10月27日に編集委員会を初校。11月10日に二校。

11月27日に発行を予定しています。

原稿寄稿を随時お願いしていきます。期日までに原稿の作成をお願いします。

開催日未定や、開催自体が未定の催しの詳細が決まりましたら常任理事メールリング等でお知らせください。

広報 佐野理事

秋季公開講演会開催見直しですが、JOURNALで告知していますが公開講演は中止としました。

公益事業として県民の皆様の健康増進につながる情報提供できるよう、慎重に審議を重ねて決議

できるようにしていきたいと思っています。

情報管理委員会からの報告です。

協議事項につながっていく事ですが、現在WEB会議ツール『Zoom』の購入について検討しています。

購入が決裁された時に備えて委員会の方で設定、マニュアル作成の準備はしていきたいと思っています。

8月21日の会務メールで動画テストの確認を皆様に依頼しました。ご意見等ありましたら会務メール等で返信してください。

Zoomの管理、運用方法の検討をしていきます。

総務庶務 森田理事

講習会等開催時等に検温するため、非接触型体温計を購入予定です。

IV. 常設委員会理事報告

理事 神谷理事

学術委員会を8月5日に開催しました。

新春公開講演会について協議をしました。

開催を前提として、教育講演は新型コロナウイルス感染症対策で頑張っている数施設にお願いをしました。浜松医療センター、中東遠総合医療センター、静岡市立静岡病院に確認をしました。現在、静岡市立静岡病院で講演を受諾していただいています。

2部構成になっていまして、1部がCOVID-19に対する各モダリティーの対応。2部で症例の紹介と経験談を講演していただけるという事です。

他2施設に関しては可能である施設と、できれば避けたいという施設もありました。

昨日(8/28)までのメール会議で検討し、静岡市立静岡病院で1時間講演をしていただく事を決定事項とさせていただきます。

2名の放射線技師から発表していただく事になっています。

公開講演については新型コロナウイルス関連で

お話をしていただく事になりました。

浜松医科大学救急部 助教 高橋喜明先生からダイヤモンドプリンセス号での活動を中心に、感染症災害というような観点で一時間講義していただくという事になっています。

開催方法に関してはWEB開催が良いのではないかと事になっています。

その際、座長を必要とするならば、聖隷富士病院・坪内様、市立湖西病院・澤根様が担当します。

企画調査 廣瀬理事

8月7日(金)にZoomを利用して企画調査委員会を開催しました。無料期間中で30分しかできませんでした。

11月中に令和3年度の学術大会のテーマの候補を5点絞り込むという話をしました。

静岡県放射線技師研修会についてですが、8/7時点ではZoomによる開催の可否が分からなかった為、会場型開催は無理であろうという事を報告しました。

先ほど会長からもお話がありました、RTCに関してですが、私の施設の技師が主として携わっています。技師会への協力もお願いできる体制になっています。

2月末日位に予定をしています研修会に、RTCとコラボした企画を考えても良いかと考えています。

V. 地区選出理事

東部組織理事 廣澤理事

5月と8月にメールによる幹事会を開きました。

6月上旬に地区会だよりを発行。内容はコロナ禍の影響で各事業が開催できなかった報告になっています。

今後の活動予定ですが、11月7日に第1回放射線セミナー 胃癌検診X線撮影従事者講習会を予定していましたが、コロナ禍の影響を考え延期とします。

1月24日に第2回をWEB開催で、長めの講習会にしようと考えています。

Zoomは県の方から補助が出るという事なので東部は個別でZoomを購入しようと考えています。

11月28・29日にメディメッセージが予定されていましたが、主催者の協和医科様より中止の連絡がありました。

これから幹事会や総会等もありますが、集まっでの開催は難しいと思っています。胃癌検診講習会で購入するZoomを利用してWEB会議を開催したいと考えています。

会長

胃癌講習会の予算で購入を考えると、東部が購入という事であれば、東中西部で3購入する事になってしまう。

廣澤理事

一年間の契約だと1万円程度ですが、1ヶ月だと2,000円という事なので講習会の時に購入を検討しています。

会長

審議事項の中にZoom購入についてあるのでそこで検討します。

中部組織理事 宿島理事

例年参加していた青葉シンボルロードで行われる静岡ふれあい広場は、5月に静岡市社会福祉協議会が開催中止を発表しましたので不参加となりました。

10月3日に予定していました胃癌X線撮影従事者講習会は、現在の状況を踏まえて中止とします。

今後はWebによる講習会を検討します。

西部組織理事 小林理事

第1回の幹事会を5月15～30日でメール会議を

行いました。

第2回の幹事会という事で、委員会ごと集まって2回に分けて分散し会議を開催しました。

勉強会をどのように開催していくかの検討、8月に西部チップスを発行しています。そこに掲載する紹介用顔写真の撮影をしました。

今後の予定ですが、10月25日に浜松市可美地区で開催される可美公園まつりに毎年参加していますが、浜松市に2週間前確認をしたところ、開催するという回答をいただいております。

開催すると言われた以上、例年通り準備を進めています。

内容は骨密度の無料検診と乳がん検診の無料相談です。これがメインでやっていますが、感染対策をしなければいけないので、そのあたりはまた今後詰めていく予定です。

勉強会ですが西部地区に関しては、開催するという事で準備を進めております。

11月28日(土)にアクトのコンgressセンターの会場を一室借り、ライブ配信をする予定で進めています。メーカーの共催も入っていますので、メーカーさんの協力も頂きながら、Teamsを使用し、ライブ配信ができればというふうに考えています。

参加者の集め方ですが、こちらはGoogleフォームでフォーマットを作成しています。神谷学術委員長の協力も頂きながら、参加者の集め方、開催の方法について詳細を詰めているところです。

会長

可美公園祭りが開催されることを祈っています。

事業に参加する場合、JARTからの補助金が出ます。中部7県で10万円出るのですが、他県がどこも名乗りを上げていないので、静岡県で10万円の補助をしてもらえるように申請は出しております。

VI. 監事(監査報告以外)事務職員

松本監事

特にありません

栗田監事

コロナ禍の中で非常に会の運営が大変だとは思いますが、公益法人という事で、全ての事業を中止という訳にはいかないと思います。大変かと思いますが運営の方よろしくお願いします。

和田顧問

会長報告にあった、日放技の事務所移転の件で日放技の会長が変わり、新たに事務所の購入の場所が安価なところにあるというのは経済的には必要かと思いますが、中沢前会長の時の代議員総会で事務所の件はどのあたりまで決着しているのか。理事会で最終的に決定するのか。

総会で決定という事になると、改めて総会を開かないといけなくなる。そのあたりはどのようにしているのか。中沢前会長の時の決議はどのようにしているのか。

会長

理事会一任になっています。

理事会よりも先に、事務所購入委員会というグループがありまして、そこで一任して良いという事で理事会承認を得ています。

和田顧問

ただ一つ問題かと思うのは、講習会等は会員の利便性を考え、事務所の一室を借りて開催していたんですけど、竹芝の場合は会場を常に確保しなければいけないという問題がある。相応の利用料を考えたときに、会員が参加するための受講料が上がってしまうのではないかという心配があります。

そのあたりの細かい詰めはまだしていないのですか。

会長

この案件については月曜日（8/31）が理事会になっています。

和田顧問

月曜日決めるという事だけれども、詳細をきちんと詰めておかないとこれで決定となると、最終的には来年の2月までに現在の事務所を退室してくれという事になってしまうじゃないですか。

もう少し詳細を詰めておくべきではないかと。代議員を務めた事がある手前、色々考えると会長が新しくなったらそっくり変わってしまうのはいかなものかと思います。

他の日放技の理事の方々がどのように思っているのか見えてこない。

JARTの雑誌にもそのような情報が掲載されていない。

理事会でもう少しおしをした方が良いのではないか。

会長が変わるたび案件が変わってしまうと最終的に会員の方に負担がかかってくる。今後の講習会等の参加に二の足を踏むという可能性が会員に無いかなと懸念しています。

そのあたりを理事会で議論されたらと思うが、先ほどの話だと8/31に決まるかもわからないとなると、詰めはそこまでいっていないのかと。ただ金銭的な問題かな。

会長

会議室については前会長の時から、外の会議室で行うという事でやっています。

大きな会議室は必要ないという話にはなっていました。

会議室を借りる費用も試算はしてありました。

和田顧問

できれば同じところの会場を確保できるところでやっても良いのだろうけれど、事務所内で出来

なければ他の場所を借りるしかないですね。

講習会の形態が、前執行部と全く様変わりしてしまうという事も出てくると思います。

そのあたりが、会員離れとかネガティブな事に繋がっていくのではないかと懸念されます。

私自身は役員を務めた手前そのように思いました。

何か機会あれば日放技の方に聞いてみてもどうかと思います。

よろしくお願いします。

会長

月曜日（8/31）に確認してみます。

和田顧問

協議事項の中で、新春祝賀会という問題が出てくると思います。

来年の叙勲祝賀会はおそらく無いと思います。むしろそういうところで密になって食事をして、クラスター発生させる可能性を考えると、来年の祝賀会は自粛しても良いかのではないか。というのが顧問からの意見という事でお伝えしておきます。

会計 大杉理事

大きな収入としまして、5月に会費が1,587,560円。6月に949,560円。7月に815,560円。

支払いで松本印刷様に467,775円払っています。

7月31日現在、ゆうちょ銀行に5,347,247円。静岡銀行に1,212,756円。現金が5,045円入っています。合計で6,565,048円となっています。

以上です。

ありがとうございました。

(3) 協議事項

1. Zoomの購入に関して

山本会長

まず、Zoomの購入についてです。Zoomがあるか無いかによって、後の協議事項も変ると思いますので、購入について先に決めたいと思います。

佐野理事

Zoomの購入についてですが、既に皆様の方から使用したいという要望が出ています。要旨に関してはご理解いただいていると思います。割愛させていただきます。

Zoomの購入を前提として支払い、契約の方法を決めなければなりません。

支払いに関してはカード決済のみとなつています。技師会保有のクレジットカードは無いので支払い方法を協議しなければなりません。方法として3つ挙げてあります。

- ①技師会保有のクレジットカード
- ②技師会名義で契約して個人のカードで支払いをする。
- ③ホームページを依頼しているアシストデザインに支払いを立て替えてもらい、後から請求してもらう。

新たにカードを作成する必要が無いので③が一番楽かと思うのですが、アシストデザインを介して支払いとなると、支払いが再販という形になり、消費税が発生します。

個人名義で支払いをする場合月払い2,000円/月+消費税で2,200円。12ヶ月支払いで26,400円になります。年払いで支払った場合22,116円になります。

これをアシストデザインに依頼した場合、2,200円に消費税が掛かります。

支払い金額として、2,420円/月。12ヶ月支払いで29,040円。年払い24,328円になります。

2,000円/月の支払でいくと、講習会等の参加人数が100名と上限が決まっています。

学術大会、総会等は100名では収まらないので、その際は別料金を単月払いという方法で追加料金を支払う事により500名まで参加可能になります。(料金8,700円+消費税)

したがって、5月の時だけ単月払いでアシストデザインを介して10,527円支払います。

購入後の利用方法も考えていかなければいけません。

ライブ配信、ホームページ上での配信、YouTube等がありますが、実際に購入し運用しながらの検討になるかと思っています。

埼玉県技師会では、ホームページ上で配信する形をとっています。

今回協議していただきたい内容としては、支払い方法の決定と契約内容を月払いにするのか、年払いにするのか。これらを決定し、購入後にシステムを構築していく中で運用、管理について再度、検討いくべきではないかと思っています。よろしくお願いします。

運用と管理ですが、情報管理委員会の方でやっていきます。Zoomの設定、マニュアルの作成を中心に準備をしていきたいと考えています。

実際、運用していくのは各委員会、各部会で活用していく事になります。運用、管理の方法に関しましては各委員会、部会の方々に決めて頂ければと思っています。

例として、委員会のイベントは東部副会長が管理・運用をしていく。部会、地区会のイベントは西部地区会長が管理・運用をしていく方法があります。

現在、Zoomを利用した講習会を開催した際、参加の流れについて検討しています。

- ①ホームページ上に掲載しアクセスをしてもらい、録画した講習会を視聴する。

申込みは必要ないが参加者を把握するため、Zoomの登録が必要。簡潔だが、登録をしないと参加したことにならない。

- ②申し込みフォームを作成し、申込者に対してだ

け共有リンク先とパスワードを伝える方法。申し込みが必要なため確実に参加者を把握できる。いずれの方法も本当に視聴したかどうかは分かりません。会員の良心に任せるしかありません。現状、参加者を確実に把握できる②の方が運用しやすいと思われます。

山本会長

質問ありますか。

高橋副会長

埼玉県での支払い方法で、カード契約名義はどなたですか。

山本会長

わかりません。
おそらく担当者だと思います。

小林組織理事

購入した場合、使用開始時期は協議事項の中に入っていますか。

山本会長

まずは購入する事を決定しないといけません。

佐野理事

購入後はできるだけ早く使用できるようにと思っています。

Zoomのプロ版を購入していないので、どのようにマニュアル等を設定していくかわかりません。使用開始時期を明言する事は難しいです。

現在3名の情報管理委員で運営しています。3名で密に話をしたり、一緒に構築していくという事が出来ていません。

実際購入したら、Zoomを使って講習会を開催しているRTCの上棚様に協力を仰ぎ、一緒に運用マニュアル等の構築を進めていきたいと思っています。

山本会長

10月から各委員会・部会が動き出すようなので、それまでに使用できれば良いですね。

購入は決まりでよいと思いますが、支払い方法をどうしますか。

アシストデザインを介する事で若干費用は高くなりますが、後々いろいろ都合がつくのかと思います。

高橋副会長

アシストデザインは以前からホームページの件でお願いしているが、更新が滞っていることがあります。会社自体を信頼しても大丈夫なのでしょうか。

今までの経緯を見ると、情報共有が上手くできていない事もあり、進捗が止まっていたこともありだろうという気もします。

佐野理事

ホームページのリニューアルに関して、進んでいないというのはその通りだと思います。

ただ、皆様からホームページへの掲載依頼があった場合、23日中に返事がきます。その翌日にホームページには掲載されている形になっていますので、そこまで遅いという事は無いと思います。

高橋副会長

一年以上前にホームページの更新は決まっていた、昨年度中には更新される予定だったはずですが、それが全く変わっていません。

佐野理事

愛甲様からそのようなお話は聞いています。

リニューアルの話が出てから2年近くが経過しているのではないかと思います。

高橋副会長

印象としてそういったところが強いのですが、

更新がされているのであれば良いかと思います。

山本会長

高橋副会長よりアシストデザインについて不信感がある話が出ましたが、リニューアル以外の対応はそれなりにしてくれているので大丈夫だと思います。

支払いはアシストデザインを介していきたいと思います。

意見等無ければ採決をとります。

アシストデザインを介してZoom代金の支払いをしていく

反対：0 保留：0 賛成：14

全員賛成という事でアシストデザインに会計の依頼をする事で行きます。

支払い方法は年払いでよろしいですか。

神谷理事

年払いにすると、参加可能人数を増やした場合どのような支払い方法になりますか。

佐野理事

年払いにすると、1,843円×12か月分 22,116円支払います。人数を増やしたい時に単月払いの料金を支払って、1か月間参加人数が増やせることになると思います。

神谷理事

増やしたい時に差額分支払うという事ですか。

佐野理事

差額分という事はないと思います。

神谷理事

必要な時だけ新たに支払いが発生するという事ですか。

先ほど会長からもありましたが、WEB開催にすると参加人数が増えます。新春公開講演会の一般講演の方に関して広報の仕方の問題もありますが、一般の方々に対して私達会員の家族というところを対象にすると、一気に増えるという可能性があります。そうすると、年払いの100人までというところから、500人までというところに切り替えをする必要が他の事業も含めて増えるのではないかと。単月払いで契約を繰り返していくと、金額が増えていってしまうのではないかと。頻度があるようならば500人で契約を考えた方が良いのではないかと。

高橋副会長

どのくらい100人を超えるような事業があるのか計算をして、それからでも良いのではないかと。それによって、単月なのか年払いにするかを決めてもよいのではないかと。

神谷理事

各部会、地区会でZoomを利用した企画が増えていくだろうと。今までは100人を超える勉強会等ではなかったが、Zoomを利用する事で100人を超える事が増えるのなら、ある月に勉強会等の開催を集中させ、500人の月払い契約をしていくのならばやりやすいのではないかと。

高橋副会長

県の提案で東・中・西部合わせて事業を開催するという話もありました。

例えば東部で胃がん従事者講習会を開催する場合、中・西部の方が見れないという話ではないので、そのような状況になれば100人を超える事はあり得るのかな。

地区開催の範囲もなくなってくる事も考えていく方が良いのではないかと。

小林理事

西部地区における勉強会参加者は普段で70～80名参加しています。WEB開催にした場合、間違いなく100名を超えると想定しています。

Zoomを利用するという事になれば、500人の枠は必要だと思っています。

地区会の勉強会は各地区会で参加会員の管理をしています。3地区会長で会員管理・運用等を検討しなければいけないので、すぐにはできないなと思いました。

西部地区で勉強会を開催する際には500人の枠は欲しいと思っています。

佐野理事

500名での契約だと8,700円+消費税でアシストデザインにお願いするので1ヶ月10,000円程度の支払いになると思います。

試算はしていませんが、もしかしたら必要な月に月払いをするよりは、500人で12ヶ月の年払いにしてしまった方が安いのかもかもしれません。

毎月何かしらの委員会、部会等を開催していると考えたら500人で年度払いをしていく方が有効活用できるのかと思いました。

神谷理事

契約を単月で切り替えるというやり方が、事務作業とか切り替えの時間が必要なのかという事を考えると大変な労力とも思います。金額的な折り合いがつくようであれば、500人での契約が良いのではないのでしょうか。

山本会長

購入はするという事で。契約や運用については一度100人枠で契約し、必要であればその時に切り替えていくという形をとるのはどうでしょうか。

神谷理事

契約の事ではないのですが、100名で契約した際、

勉強会に100名入ってしまった場合、101人目の方は入れなくなってしまうという事でよろしいでしょうか。

佐野理事

おそらくそのような事になると思います。

神谷学術理事

フォームを利用して参加者の管理をし、契約を切り替えるという事もできなくはないですね。

畑副会長

申込み時の管理をアシストデザインにお願いする事は出来ないのでしょうか。

佐野理事

6月に開催する勉強会等があれば5月中旬までに人数を把握し契約を変更していくという事が出てくると思います。

今回は、100人での契約をベースとして試算していますので、改めて500人をベースとした契約を試算して会務メールでお知らせします。

山本会長

契約をすること自体は賛同を得ています。契約の内容、運用については情報を会務メールで流します。

契約後は速やかに運用できるよう体制を整えていきます。

支払い方法に関しては常任理事で検討し、できるだけ費用を抑えられるようにしていきたいと思っています。

よろしくお願いします。

次の議題に入ります。

新春公開講演会についてです。

開催方法について検討していきたいと思っています。

Zoomの購入が決まりましたので、WEB開催が

可能になりますがどうでしょうか。

日程は令和3年1月9日(土) でいいですね。

神谷理事

講師の方々には内諾は頂いています。静岡市立静岡病院の方はしっかりと頂いておりません。

山本会長

ライブ形式にしますか。WEB+会場型にしますか。

神谷理事

そのあたりを審議していただきたいと思います。

委員会としては従来の開催方式は難しいであろうという見解です。

WEB開催という形でやっていきたいが、WEB単独か会場型との併用かを委員会では決定できません。

個人的にはハイブリッド形式だとスタッフの配置が大変になるのではないかと考えているので、WEB単独での開催が良いのではないのでしょうか。

開催形式、場所を決めて頂ければと思います。

山本会長

現在商工会議所を予約してあります。それは無しで良いですか。

神谷学術理事

商工会議所のネット環境が分からないのですが、ライブ配信をするのであればそれなりの環境があるというのが前提になります。

技師会事務所から配信でも問題が無いかと思えます。

佐野理事

配信をライブにするのか録画したものを配信するのかでまた変わるのではないかな。

今、会場からの配信が大丈夫ですとお約束する

事も難しい。

安全策をとるのであれば、事前に撮影したものを当日配信するというのが一番安全だと思います。

神谷理事

事前の録画は誰がどこで撮影するかというのはどのように決めますか。

佐野理事

現状、Zoomの運用方法等が分かっていないので、そこまで決めれる状況ではないと思います。

撮影した動画をどのような形式になるかわかりませんが、Zoomに落とし込んで配信するという形にはなると思います。

高橋副会長

PowerPointの最新版で動画配信ができます。録画する事もできるので、録画されたものをそのままWEBで配信できます。そのようにすれば講師の負担が大きくなって済むのではないかな。

ライブ配信の方がその場でディスカッション出来て良いと思います。もしくは、動画を流した後には講師の先生に出て頂いてディスカッションしてもらう考え方もあります。

佐野理事

動画を流しておいて、質問があればチャットで受ける。その方が安全かなと思います。

チャットの方が質問をし易いし、受けやすいと思います。

高橋副会長

座長が仕切ってくればチャットで上手くいくと思います。

神谷理事

講師の先生には事前の録画と、当日会場に来ていただくか、ご自身で部屋等を用意してZoomに

入ってもらい準備していただくという事です。

高橋副会長

そのあたりを確認していただいて、座長から先生の方に、参加者から質問が来ているという問いかけをし、回答をいただくことができれば良いのかと。

山本会長

録画したものを配信する場合、先生をデータ作成と講演と2回拘束しなければいけない。それならば、ライブで一時間講演していただいてもよいのでは。

神谷理事

質疑応答ありの形式ではなく、今回の新春公開講演会は質疑応答無し。配信のみの開催をするという形にするのはどうでしょうか。

山本会長

先生のデータを録画して、それを配信しても良いのか確認をとらなければいけないですね。

データを勝手に使用したり、簡単にキャプチャーできるようなので、確認は必要になります。

神谷理事

高橋先生からいただく講演は、当初はオフレコのダイヤモンドプリンセス号内での動きで、具体的な事象は出してはいけないという事だったので、依頼をお願いした時期には各所で情報が出ているから良いという事で受けて頂いています。

同じ内容の講演を他の会でもお話しされると伺っています。

他でもWEBの講演をするという事なので、データの管理については技師会と同様の問題が出ていると思いますので、その辺りはクリアされるのではないのでしょうか。その後、講演データが流出し、問題が発生したため依頼を受けられないとい

う可能性はゼロではないと思いますが現段階では大丈夫だと思います。

高橋副会長

先生がライブ講演をしていただけるのであればライブ配信にしましょう。

技師会事務所でなく職場等で。

神谷理事

11月に西部地区で企画した勉強会は会場型を予定しています。

会場型にした理由として、ネット環境や配信における技術的な不安要素があるという事があります。

ネット環境等、設備が整っている会場で配信における技術に長けている方がサポートにいる体制の下でないと西部地区ではできないと判断しました。

新春公開講演会はどのように開催するか皆様に決めて頂きたいと思います。

高橋副会長

技師会事務所であればネット環境は整っています。学術委員だけになってしまうかもしれないが、人数を制限すればできるのではないのでしょうか。

神谷理事

トラブル発生時の対応に、出来れば技術的に長けている人に来ていただけるか、業者に依頼して対応をしていただけると安心できると思います。

今後、運用に慣れてくれば役員でも対応できるようになると思います。

山本会長

講師の先生は環境が整っている場所で講演をしてくれるのでしょうか。

WEBでの講演は理解しているのではないか。

神谷理事

先生の講演される環境が分からないので、事前に録画したものを配信の方が管理はしやすいと思います。

先生も時間に縛られることもないですし、質問を受けないという形で開催すればやりやすいと思います。

高橋副会長

もし講演の内容がわかれば、事前に質問を受け付けて、それに対する回答をいただいておくというのはどうでしょうか。

神谷理事

それでしたら、Googleフォームで視聴を希望する方に、質問事項を記載してもらう欄を設けておいて、事前に集約しておく。その中で、いくつかを録画の中に入れ込んでおく。

高橋副会長

録画でなく、質問の回答をあらかじめ先生からいただいて、講演後に座長の方から配信するという方法もあります。

質疑応答とはいかないですが、質疑形式にはなるのではないかと思います。

神谷理事

実際、事前に頂いた質問に対する回答を配信するという事を行っているWEB講演会もあります。そのような形で良いと思います。

佐野理事

トラブル無く開催するのであれば事前に録画をしておく事を決めた方が良いと思います。

今後Zoomを購入し開催していくことなら、最初の運用になるかもしれませんが。運用についてはどう進めていくのか何とも言えないところです。

ここでライブ配信でというのはリスクを伴うと

思います。

山本会長

新春公開講演会の前に10月か11月に使えますよね。

12月には部会でZoomを使って勉強会を開催します。

高橋副会長

Zoomを使える事が前提で、部会でトピックスを出し、それを3～4演題、1人20～30分くらいでやろうという話は出ています。ライブ配信で検討しています。

佐野理事

Zoomを購入していないので確約できる事はないもない状況です。

高橋副会長

新春公開講演会に関しては、ライブというよりは録画して配信の方が、先生への負担が少ないし、失敗が無いという意味では良いのかもしれないですね。

山本会長

先生に対してはそうですね。

技師はどうでしょう。

高橋副会長

静岡市立静岡病院の方であれば、事務所に来ていただければ問題なさそうですね。

一時間講演を2人でやっていただけるという事です。事務所でライブ配信は大丈夫ですか。

後藤理事

Zoomの運用状況にもよりますが、現在のTeams利用時のWEB環境ならば大丈夫だと思います。

技師2名に現在は商工会議所ですが事務所で

WEB開催ですという案内を出せば問題ありません。

山本会長

先生の講演は録画したものを配信。技師については技師会事務所からライブ配信で開催する形で行きましょう。

予約してある商工会議所はキャンセルします。

申込み方法をどうするかですね。

高橋副会長

神谷理事から先ほどの提案をお話ししていただけますか。

神谷理事

西部地区の勉強会で小林会長と話を進めているのは、Googleフォームを利用して参加希望者を募り、視聴用のQRコードを送付するというやり方です。

このような形で事前登録ができれば良いと考えています。

それをどなたが管理していくか考えなければいけないと思います。

技師会主催は技師会の流れで決めていただきたいと思います。

西部地区は小林会長が中心となり管理をしています。

参加者の管理のほかに受講証交付についてですが、演者に講演のスライドの中にkeywordを入れ、それを参加者が交付用の入力フォームに入力し、受講証明書がPDFで交付されるというところまで考えています。

山本会長

参加者の申し込みから受付、講習会料金の徴収まで出来るアプリがありますね。

研究会等で利用されています。

神谷理事

詳しいことは分かりませんが、Googleフォームでもお金のやり取りができる機能はあります。ただ、管理に私たちのIT技術レベルだと責任が持てないため、料金の徴収機能は利用していません。

有料の講演会はクレジットカードで支払ってから、参加承諾のメールが送られてくるという事があります。そこまでやっていただけると凄いなと思います。

佐野理事

どこまでを情報管理委員会が管理していくのかということですが、新春公開講演会に関しては広報と情報管理委員会は運営に携わります。他の部会、委員会でも情報管理委員会が携わるという事になるとはっきり言って無理です。

新春公開講演会については皆様の協力のもと広報、情報委員会がやっていかなければいけないという認識はあります。

神谷理事

学術委員としては演題の決定、座長の決定というところが一番の仕事であると聞いていました。実際の運営というのは理事の皆様が運営していくと伺っていました。

現在、運営について学術委員の方で検討している事はありません。

山本会長

佐野理事には負担がかかりますが、情報委員の愛甲様、皆さんで協力して良い方法を考えていきましょう。

廣澤東部会長、勉強会等開催にあたり開催方式等良いやり方はありますか。

廣澤理事

1月の第2回放射線セミナーと胃がん検診従事

者講習会についてはZoomで開催予定です。

Zoomは一ヶ月の契約で地区で購入を考えています。

申込み方法は、開催前に地区会だよりを発行します。そこに参加希望者が決められたURLにアクセスし、参加用のIDとパスワードを入手する方法を考えています。

事前登録の方が参加者の管理がしやすい事と、一般公開をする予定はないのでこれで行けると思います。

証明書については後日郵送を考えています。

山本会長

参加したかの確認はどうしますか。

廣澤理事

参加申し込みした後、セミナーに入ってきた申込者は確認できます。

そのチェックで十分かと。

普段の胃がん講習会でも登録後に帰ってしまう方もいます。それを考えればログインだけでOKで良いと思っています。

後藤理事

参加人数はどうしますか。

廣澤理事

100人限定で購入します。自前で購入なので100名までのプロ版を購入します。

公示の際に100人限定で公示、先着順にします。

後藤理事

ありがとうございます。

廣澤理事

その方がシンプルだと思いませんか。

山本会長

シンプルで今までの中一番わかりやすかった。

廣澤理事

もし何か失敗しても何とかなるかと。

プロ版だとホストを1～2台増やす事が出来るようなので、1台PCにトラブルがあってもどうにかなる。会場もWEB開催なら何処でもできます。講師の先生に自宅で待機していただろうとか、一週間くらい前にちょっと練習やりますのでお願いしますみたいな感じでメール出して、ある程度の下準備はします。後はやってみるしかないかなって気はします。

山本会長

講習会は技師だけですか。

東部

今回はトラブル等が怖かったのでメーカー3社、伊藤宏明技師に胃がんのお話をしてもらい3時間を予定しています。

山本会長

最初なのでシンプルに開催ですね。これならGoogleフォームを使わなくても開催できますね。このような感じでも良いですね。

東部地区がシンプルな形でスタートです。

宿島理事

WEB配信で東中西部に地区の縛りをなくして東部、西部に配信するというのも一つの方法だとは思いますが、100人の縛りがあるのでそこは検討しなければいけないと思っています。

ホストPCが3台あったら合同も可能だと思います。その辺りが使い方等よく分からないので検討事項かと思っています。

小林理事

西部の勉強会は無料で300人入れるという事なので、Teamsの無料版で開催を考えています。

9月に会場に下見に行き、パソコンの配置、演者の動き等を実際に確認してきます。

Googleフォームは参加者の申込み、受講証明書の発行に利用できるところは利用していく予定です。

Googleフォームを地区役員で試しに使ってみました。回収したメールアドレスをExcelに落とせるところまで確認しています。

西部地区としては、県で購入したZoomを使う事が出来ればぜひ利用したいです。

利用していけば運用のノウハウも溜まっていくと思います。

最初に西部地区で利用させていただけるのであればありがたいです。

ただ、人数の枠が100人というのが西部地区では気になるころではあります。

勉強会を開催した場合、100人は間違いなく超えると思います。枠の部分が心配しているところです。

山本会長

東部地区のように、WEB開催が初めてという事で100人で切ってしまうのはダメですか。

廣澤理事

東部は100人集まらないと思います。50人前後だと思います。

WEB開催でエリアが伊豆から御殿場まで広がっても100人は集まらないと思います。

小林理事

西部でもう一つ考えているのは、これまで年2回勉強会を開催していたのを年3回にして胃がん検診従事者講習会を各一時間ずつ入れて計3時間予定できればという考えで動いています。

この件に関しては9月の幹事会で承認を得てから進めていきたいというのが私の考えです。

廣澤理事

3時間の講習会、長いとは思いますが、今年度は一回しか開催できないので3時間でやります。来年度は2回に分けてやっていこうと思います。

会長のPCが不調のため、高橋副会長が議事を進行

高橋副会長

地区会の講習会は地区会ごとに開催するという事で良いと思います。

合同で開催を考えずに各地区できる範囲で開催していただければと思います。

よろしくお願いします。

新春公開講演に関しては公開講演という社会活動的な事もあるので人数的なもの、広報活動をどのようにしていくかという事も考えなくてはけません。当然一般の方にも見て頂かないといけない事も出てくると思います。

その辺りも理事の方でしっかりと考えていきたいと思っています。

神谷理事

昨年まではチラシを作成して配布するという事をやっていたと聞いてます。

高橋副会長

色々なところに配布しました。静岡新聞社、県庁にも案内を出しました。

一般の方の募集も必要になってきます。

新春公開講演会については先生の講演は録画で配信する事を伝えてください。

静岡市立静岡病院技師の講演についてはライブ配信の方向で考えます。

場所はまた検討していきますが、商工会議所は

キャンセルとします。

あとは参加者の管理について検討していかなければいけない事があります。

先ほどお話が合ったGoogleフォームを利用するのか、独自に考えたものを利用するのかもう少し考えて、当日しっかりと運用できるようにしないといけません。

一般参加者の人数の確認はできますか。

神谷理事

Googleフォームを利用すれば簡単です。

申込み時に選択項目を作っておいて、一般なのか会員なのか選択をしてもらえれば簡単にできます。

あくまでも事前登録が前提になります。

チラシにURL・QRコードを載せて、そこにアクセスするとGoogleフォームに入って、必要な情報を打ち込んでもらうという方法があります。

会員用と一般用のGoogleフォームを分けておく和管理はより簡単になるかと思います。

高橋副会長

出来れば県に報告する際、一般の視聴者がどれくらいの人数いたのかを報告したいです。

可能であればフォームを分けて、人数だけでも把握しておきたい。

公開講演を開催しましたという報告するにあたり、これだけの方が視聴してくれましたという結果のようになるので、フォーム分けはしたいと思います。

公開講演のポスターに専用フォームのアドレスを貼って登録をしてもらうという事ですか。

神谷理事

フォームにはメールアドレスは記入してもらい、自動返信で視聴用のアドレスを送信するかたちになると思います。

必須ではないですが、講演を知ったきっかけ等

を記入できる欄をアンケート項目のような形でフォームに入れておけば、今後データを解析して広報活動のやり方にも生かせるのではないかと。

高橋副会長

管理の負担は大きいですが多角的な運用ができそうです。

以上のような形で新春公開講演会は進めていきます。

顧問からありました祝賀会の開催についてです。

皆様から意見を募っていきたくと思いますが、このような時期ですので開催は厳しいと思います。当然、各病院でも行動制限を出している施設もあります。

よって祝賀会は『中止』という事でよろしいでしょうか。

賛成の方、挙手をお願いします。

賛成 14（全会一致承認）

賛成多数という事で、祝賀会は中止という事でよろしくをお願いします。

高橋副会長

専門職大学校についてです。

今まで3年生としてやっていた静岡医療専門大学校が令和7年4月に4年制への大学移行に向けて準備を進めています。今回、4年制に移行し専門職大学開設にあたり協力の要請がありました。

技師会において、3年制の専門学校に対しては否定的な対応をしていました。

今回、技師会に対して協力体制をお願いしますという要請がきています。

山本会長

先日、静岡医療専門大学校から資料にある文章がきました。

4年制の専門職大学に変更するという事です。

学校の設立にあたり学校側は3年。技師会は4年制での開設を求めています。

技師会として、4年制への変更を求めて実習病院の受け入れをしないで下さいと東海4県、関東の施設にお話をしてありました。にもかかわらず3年制で推し進めたという経緯があります。

実習の受け入れ制限に関してはずっと生きていて、各施設対応していました。

今回、協力要請の文章がきまして話を聞きました。

一番は卒業する県内出身学生5名が実習するという事と、今後も十数名、二十数名と続きます。規模としては大きくはないのですが、学生が増えてきたという事で、実習の受け入れ協力を改めて要請がきています。

文章がくる前に、JARTの上田新会長のもとに協力の挨拶に行っています。

学生に罪はなく迷惑はかけられないので協力をしていきたいという事で、今後は実習を積極的に受け入れてください。

令和7年4月開設を目指して移行を進めています。申請を出す際に実習受け入れ先の施設名が欲しいようです。ぜひ実習受け入れ、各施設の協力をお願いします。

東海4県の会長会議の場でも、本部と静岡県が良ければ協力しますという事でした。

同様に関東地区の会長にも報告しました。

今後は学校側より各施設へ実習受け入れの依頼が行くと思います。

よろしくお願いします。

静岡医療専門大学校の実習受け入れの要請に対し、会長名で受け入れ協力の文書を出すことの採決をとります。

反対：0 保留：0 賛成：14

(全会一致承認)

山本会長

他に協議事項はありますか。

協議事項が無ければこれで理事会を終了します。

*議長が第2回理事会の終了を宣言したので、令和2年8月29日午後4時40分理事会を閉会。

議事録作成 森田 光博

行事予定カレンダー

(2020年12月～2021年3月)

12 月		1 月		2 月		3 月	
1	火	1	金 元 旦	1	月	1	月
2	水	2	土	2	火	2	火
3	木	3	日	3	水	3	水
4	金	4	月	4	木	4	木
5	土	5	火	5	金	5	金
6	日	6	水	6	土	6	土
7	月	7	木	7	日	7	日
8	火	8	金	8	月	8	月
9	水	9	土	9	火	9	火
10	木	10	日	10	水	10	水
11	金	11	月	11	木	11	木
12	土	12	火	12	金	12	金
13	日	13	水	13	土	13	土
14	月	14	木	14	日	14	日
15	火	15	金	15	月	15	月
16	水	16	土	16	火	16	火
17	木	17	日	17	水	17	水
18	金	18	月	18	木	18	木
19	土	19	火	19	金	19	金
20	日	20	水	20	土	20	土
21	月	21	木	21	日	21	日
22	火	22	金	22	月	22	月
23	水	23	土	23	火	23	火
24	木	24	日	24	水	24	水
25	金	25	月	25	木	25	木
26	土	26	火	26	金	26	金
27	日	27	水	27	土	27	土
28	月	28	木	28	日	28	日
29	火	29	金			29	月
30	水	30	土			30	火
31	木	31	日			31	水

* 都合により変更になる場合があります。県技師会・各地区会の広報誌もしくは静岡県技師会ホームページにてご確認ください。
 * 日放技主催の生涯学習セミナー・A・Dセミナー等は、JARTまたはNetwork Nowをご覧ください。

編集後記

*連載企画の「突撃!!となりの放射線科」を読みましたか?私はこの連載が楽しみで、毎回ジャーナルが届いてから読ませてもらっていました。今回は編集委員として原稿を頂き、確認をと思い読み始めたら一気に読んでしまいました。皆様もぜひ読んでみてください。
至らないところもありましたが無事に編集を終えることができました。次号も温かく見守っていただけると嬉しく思います。(遠藤)

*2020年も残り一か月となりました。新型コロナウイルスで大混乱の1年でしたが、2021年はワクチン開発やウイルス終息の目途が立ち、普段の生活に戻れることを期待します。(杉山)

*今年も寒い季節がやってきました。寒いのが苦手な私ですが、この季節の暖かい布団、お風呂、炬燵は最高です。一度入るとなかなか出られません・・・。(渡邊)

*この半年間で中学の同級生が二人も病気で亡くなりました。60代後半になり、『健康』の二文字が常に気にかかります。せめて、あと5年間は現役で仕事をしたいと思っていますが・・・。(三輪)

*少しはコロナが落ち着いてくると思っていたのですが、状況はほとんどかわっていません。あまり遠出をすることなく家庭菜園で野菜を作っています。“ステイファーム”
皆さん体には気を付けてください。(堀)

*コロナウイルスによる混乱や不安が依然として続いている昨今ですが、私事ながら最近近場の山に引きこもって歩き回る趣味を再開しております。ささやかながら個人的なGo to キャンペーンを堪能している次第です。(常葉)

会誌「しずおかジャーナル」Vol.30 No.2 2020 令和2年11月27日発行

発行所 : 〒420-0064 静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202
公益社団法人 静岡県放射線技師会

発行人 : 山本英雄
編集者 : 遠藤基生

印刷所 : 松本印刷株式会社 〒420-0054 静岡市葵区南安倍1丁目1番18号
TEL(054)255-4862 FAX(054)253-2309

事務所案内

執務時間: 月曜日～金曜日 午前10時より午後1時まで TEL(054)251-5954
執務時間外は留守番電話にてお受けいたします。 FAX(054)251-9690

URL <http://shizuhogi.jp>

E-mail address : shizuhogi@ac.auone-net.jp